

くいやま

社協だより

令和4年(2022)年

第124号

8月



色あざやかに 花いっぱい運動

全町の花いっぱい運動は、新型コロナウイルス感染対策をし、81の町内会・自治会・関係団体に協力いただき、実施できました。ご協力ありがとうございます。
(関連記事P7)

- ケアラーサポーター養成講座……………2
- ケアラーサポーター訪問活動
いのちのバトン配付事業……………3
- 令和3年度事業報告、決算……………4、5
- 令和4年度事業計画、予算……………6
- 花いっぱい運動……………7
- お知らせ等……………8

話の聴き方の“コツ”

相手の気持ちに寄り添って聴くために

北海道総合福祉研究センター
理事長 五十嵐 教行氏



普通の会話で ありがちなこと

- ①相手の話を聴き終わる前に、自分の意見を言いたくなる。
- ②別なことを考えながら聞いている。

傾聴における 受容と共感

①受容

相手の話を聴き、「この方はこう考えているんだな、こう感じているんだな」と受け止める。
※自分の意見を伝えたり批判はしない

②共感

相手の話を聴き「その価値観や背景の気持ちを理解しようとする」態度。
※相手の気持ちに思いを巡らす

傾聴の 基本的な技術

①うなずき

・ ゆっくり、深くうなずくことで、しっかり聴いている印象になる

②相づち

・ 相手の話すペースに合わせてうなずくことで、息が合っている印象になる

・ 相手の話を促す相づち
「うんうん、それで？」
「うんうん、それからどうなったの？」
・ 相づちのさしすせそ
さ…さすが
し…知らなかった
す…すごい
せ…センス良いですね
そ…そうなんだ

傾聴する時の 気持ちのあり方

- ①教えようとするのではなく、相手をわかろうとする
- ②話している言葉や会話の中にある「間」に隠された本音や感情をくみ取ろうとする姿勢

- ③相手の立場を想像しながら、聴く姿勢

ケアラーサポーター 養成講座開催内容

6月22日、総合福祉センター「しゃるる」におきまして、ケアラーサポーター養成講座（参加者55名）を開催しました。

講師には、北海道総合福祉研究センター理事長の五十嵐教行氏をお招きし、講演いただきました。

講演では、日常会話における「傾聴」の大切さや心構え、基本的な技術について具体的な事例を交え、ご講話がありました。

参加者からは「お話がとても具体的でわかりやすかったです」、「まずは、家族や近所の方のお話を聴く際に実践したいと思います」などと感想がありました。



ちょっと気になることをサポート



ケアラーサポーター訪問活動

ケアラーサポーターとは？

「いのちのバトン」配付世帯(566世帯)に電話で近況確認をした際、訪問の希望を確認し、訪問を実施しております。

その訪問活動を担う「有償ボランティア」がケアラーサポーターです。

訪問活動は地域の民生委員さんのご協力をいただいております。

お変わりないですか？ いのちのバトン配付世帯へ

◆訪問活動の内容



お話しをお聴きします



「ちょっと気になること」

- ・制度の紹介をします
- ・関係する機関を紹介します

いのちのバトンってなに？

いのちのバトンは、

- かかりつけの病院
 - いまかかっている病気
 - 家族などの緊急連絡先等
- ※救急時に必要な情報を冷蔵庫に保管して、万が一、救急車(救急隊員)が駆け付けた際に、救急隊員が活用するものです。

第1号様式 記入年月日 年 月 日

安心カード

救急車・消防 119	南空知消防組合消防署 72-0150
警察 110	栗山警察署 72-0110
ふりがな	(男・女)
氏名	電話
住所	年 月 日
生年月日	明治・大正・昭和
血液型	A・B・AB・O Rh (+・-)
かかりつけの病院	
今かかっている病気	
常用している薬	
アレルギー	
緊急時連絡先	住所
氏名	電話(携帯電話)

このカードに記入された個人情報は、緊急業務以外には提供いたしません



【社協で無料配付】

申し込みは？

申し込みは、社会福祉協議会または、地域担当の民生委員へご連絡ください。
いのちのバトンは、無料配付いたします。
※関係機関との情報共有のため、個人情報使用の同意書に署名いただいております。

社会福祉協議会
電話：72-1322

令和3年度社協事業報告

地域福祉活動事業

- ・花いっぱい運動……………花苗22,200本植栽
81町内会・自治会・団体等
- ・愛らぶ活動事業……………5町内会、14自治会
除雪・見守り対象世帯 87世帯、支援者 81名
- ・ふれあいサロン事業
……………7町内会、1町内連合会、1連合町内会
参加対象 209名、運営者 48名
- ・知って得する福祉なんでも講座(出前)… 3件
- ・応急生活資金貸付件数……………27件
- ・生活福祉資金……………相談43件、貸付32件
- ・無縁仏、開拓先人供養会(トキト山、二岐、築別・円山、雨煙別)
中国人殉難者供養会実行委員会に対する援助
- ・遺族会、保護司会栗山分区支援

調査企画広報事業

- ・ふれあい広場くりやま……………中止
- ・社協だより発行……………3回(7、1、3月)

ボランティア活動事業

- ・夏休み体験ボランティア……………5つのメニュー
21名延べ38名
- ・ボランティア連絡協議会、月見草の会、手話の会
更生保護女性会、赤十字奉仕団、青年団体協議会
リーディングサービス「とらいあんぐる」、ぼらんてい
あ輪来、傾聴ボランティア「虹」活動支援
- ・学校ボランティア活動普及推進事業……………栗山小学校、栗山高校
- ・ボランティア活動保険加入促進(13件 226名加入)

青少年福祉事業

- ・青少年育成会、初級・上級リーダー研修会

心配ごと相談事業

- ・無料法律相談(札幌弁護士会)……………開設14回、相談件数35件
- ・民生委員児童委員協議会助成

ケアラー支援事業

- ・スマイルサポーター活動
 - 相談所対応……………39件
 - 関係機関に繋いだ件数……………17件
 - 家族介護者交流会……………12回
 - 訪問活動……………9件、延べ 23名
- ・NHKみんなでケアトレ……………98名

高齢者/障がい者福祉事業

- ・電話サービス事業……………14世帯
- ・あったかサンタの贈り物……………14世帯
- ・いのちのバトン配付事業……………20本配付(累計579本)
40町内会 14自治会 1連合町内会 1町内連合会
地域担当民生委員と連携、お手紙と電話で安否確認
- ・日常生活自立支援事業……………3件
(在宅の認知症や障害者の方等の金銭管理、書類確認支援等)
- ・車いす貸し出し事業……………21件
- ・歩行器貸し出し事業……………6台
- ・ベット柵貸し出し事業……………3件
- ・入浴補助用具貸し出し事業……………15件
- ・ポータブルトイレ貸し出し事業……………8件
- ・福祉の杖交付……………55本
- ・老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、
ことばを育てる親の会、手をつなぐ育成会
障害者自立支援連絡協議会活動支援

在宅福祉サービス事業(町受託事業)

- ・配食サービス事業
 - 月～土曜日の昼食……………37名延べ4,609食
(水・金曜日は、48名の調理ボランティアの手作り)
 - 月～金曜日の夕食……………39名延べ4,031食
- ・生活支援コーディネーター事業
錦・角田地区打ち合わせ
継立地区：茶道の交流事業実施
- ・除雪サービス事業……………玄関前191世帯
排雪、屋根の雪下ろし43世帯
- ・障害者移動支援事業……………延べ347回

まちなかカフェ事業

【サンタの笑顔】

- ・いきいき交流プラザ 月～土曜日の9時～17時
- ・利用者…小中学生19名、一般2,778名 合計2,797名
- ・世代間交流(介護学生によるレクとカフェ)……………10名
- ・スマホ講座……………11名
- ・カフェボランティア……………活動中止
(協力団体：老人クラブ連合会女性部、月見草
の会、更生保護女性会、栗山地区女性学級、
赤十字奉仕団リーディングサービス「とらいあんぐる」)
- ・健康相談、パソコン利用

【ふじ団地】

- ・ふじ団地集会所 毎週木曜日の13時～16時
- ・カフェボランティア登録者8名……………開催中止

【かくた】

- ・角田改善センター 毎週金曜日の13時～16時
- ・カフェボランティア登録者31名(4班体制)
……………開催中止
- ・いきいき百歳体操……………11回、228名
- ・健康講話等……………3回、88名

【遊歩道の駅つぎたて】

- ・毎週月～土曜日
- ・利用者…小中学生26名、一般501名 合計528名
- ・カフェボランティア登録者……………19名
- ・健康相談、詐欺被害防止講話、健康麻雀
茶の遊、脳の健康教室自主サークル他……………109名
- ・世代間交流……………開催中止
- ・サマーフェスタ……………中止
- ・地域食堂……………中止

令和3年度社協決算

社会福祉事業 貸借対照表 令和4年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産		流動負債	
現金	100,000	事業未払金	2,783,808
普通預金	2,673,057	職員預り金	55,533
事業未収金	3,267,320	賞与引当金	728,804
流動資産計	6,040,377	流動負債計	3,568,145
基本財産	1,000,000	固定負債(退職給付引当金)	3,705,420
その他の固定資産		負債の部合計	7,273,565
車両運搬具	1,289,980	純資産の部	
器具及び備品	519,685	勘定科目	金額
ソフトウェア	363,000	基金(地域福祉活動基金)	1,007,247
退職給付引当資産	3,705,420	国庫補助金等特別積立金	1,136,001
応急生活資金貸付原積立資産	693,000	福祉活動積立金	37,470,242
福祉活動積立資産	37,470,242	基本財産積立金	1,000,000
地域福祉活動基金積立資産	1,007,247	充実計画資金積立金	25,290,884
応急生活資金貸付金	307,000	応急生活資金貸付積立金	1,000,000
充実計画資金積立資産	25,290,884	車輛購入積立金	408,958
車輛購入積立資産	408,958	その他の積立金計	65,170,084
その他の固定資産計	71,055,416	繰越金	
		次期繰越活動増減差額	3,508,896
		うち前期繰越活動増減差額	4,102,993
		うち当期活動増減差額	△3,815,224
固定資産計	72,055,416	純資産の部合計	70,822,228
資産の部合計	78,095,793	負債及び純資産の部合計	78,095,793

公益事業 貸借対照表 令和4年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産		流動負債	
普通預金	512,929	事業未払金	882,106
事業未収金	369,177		
流動資産計	882,106	流動負債計	882,106
基本財産	0	固定負債	0
		負債の部合計	882,106
		純資産の部	
		勘定科目	金額
その他の固定資産計	700,000	その他の積立金	700,000
その他の積立資産	700,000	繰越金	
		前期繰越活動増減差額	0
		うち当期活動増減差額	700,000
		次期繰越活動増減差額	0
固定資産計	0	純資産の部合計	700,000
資産の部合計	1,582,106	負債及び純資産の部合計	1,582,106

【令和3年度実績】

計画 4,040,000円
実績 3,222,890円
差引 △817,110円
※実績内訳(右記事業)
① 1,003,000円
② 350,000円
③ 1,019,890円
④ 850,000円

【令和3年度事業】
① 職員の処遇改善事業
② 愛らぶ活動事業の充実
③ まちなかカフェ事業の充実
④ ケアラー支援事業

10年計画
(平成29〜令和8年度)
社会福祉充実計画

社会福祉事業 資金収支決算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	2,968,200
	分担金収入	90,000
	寄附金収入	1,157,000
	経常経費補助金収入	12,278,244
	受託金収入	24,888,600
	貸付事業収入	937,000
	その他の収入	974,177
	事業活動収入計(1)	43,293,221
	支出	
	人件費支出	20,077,305
	事業費支出	21,104,519
	事務費支出	1,853,263
	貸付事業支出	932,000
	助成金支出	1,487,723
	事業活動支出計(2)	45,454,810
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,161,589
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入(4)	0
	支出	
	固定資産取得支出(5)	353,430
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△353,430
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	3,910,890
	その他の活動収入計(7)	3,910,890
	支出	
	基金積立資産支出	151
	積立資産支出	1,019,303
	事業区分間繰入金支出	1,026,177
	その他の活動支出計(8)	2,045,631
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,865,259
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)		△649,760
前期末支払資金残高(11)		3,850,796
当期末支払資金残高(12)=(10)+(11)		3,201,036

公益事業 資金収支決算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	収入	
	経常経費補助金収入	358,000
	受託金収入	5,003,100
	事業収入	223,650
	その他の収入	7,950
事業活動収入計(1)		5,592,700
支出	人件費支出	2,295,593
	事業費支出	3,623,284
	事業活動支出計(2)	5,918,877
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△326,177
その他の活動による収支	収入	
	事業区分間繰入金収入	1,026,177
	その他の活動収入計(4)	1,026,177
	支出	
	積立資産支出	700,000
	その他の活動支出計(5)	700,000
	その他の活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	326,177
当期資金収支差額合計(7)=(3)+(6)		0

令和4年度社協事業計画・予算

3月29日の評議員会で令和4年度の事業計画と予算が決定しました

地域の見守り支え合い活動の充実

町と連携を図り、いきいき交流プラザを拠点としたケアラーの支援に係る相談・支援体制の充実を図ってまいります。

特に公的サービスを直接受けられない「ケアラー」への支援について重点的に取り組んでまいります。

また、身近な地域の中から多様な生活課題の早期発見や問題の深刻化を防ぐため、お互いの“さりげない気づかい”や“ちょっとした目配り”を通じた見守り活動である命のバトン配付事業、愛らぶ活動事業、まちなかカフェ事業等の充実を図ってまいります。

ボランティアなど地域人材の育成

地域住民がボランティア活動に積極的に参加できる仕組みとして「有償ボランティア」事業を展開し、新たなボランティア人材の創出、生活支援サービスの向上を目指すとともに、ボランティア人材の育成を目的とした研修会等を開催してまいります。

また、夏休み期間を利用した学生ボランティア事業や、ボランティア連絡協議会と連携し、様々な活動の担い手の育成を進めるための取り組みを進めてまいります。

一人ひとりに寄り添ったサービスの展開

ひとり暮らしや認知症、生活困窮者などの増加により権利擁護事業の充実が求められています。そこで、道社協から一部受託しております日常生活自立支援事業（金銭管理）の充実を図るため、研修会や支え手となる支援員（住民）の育成を実施してまいります。

行政とのパートナーシップ

社協が地域福祉推進の中核的な存在として、行政とのパートナーシップの推進を図るとともに、生活の拠点である「地域」において充実した生活を営むことができるよう、各種事業を通じて積極的に取り組んでまいります。

以上を令和4年度の重点項目として取り組めますが、この実現のために地域福祉の様々な担い手である行政、町内・自治会、民生児童委員、ボランティア、福祉事業者などと協働して取り組み、地域の福祉力の向上につなげてまいりたいと思います。

社会福祉事業 資金収支予算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額
事業活動による収支	収入	
	会費収入	2,950,000
	分担金収入	90,000
	寄附金収入	1,000,000
	経常経費補助金収入	13,524,000
	受託金収入	24,320,000
	貸付事業収入	1,000,000
	その他の収入	120,000
	事業活動収入計(1)	43,004,000
	支出	
	人件費支出	21,123,000
	事業費支出	22,659,000
	事務費支出	3,116,000
	貸付事業支出	1,000,000
	助成金支出	1,801,000
	事業活動支出計(2)	49,699,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△6,695,000
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	9,527,000
	サービス区分間繰入金収入	2,355,000
	その他の活動収入計(4)	11,882,000
	支出	
	積立資産支出	1,332,000
	事業区分間繰入金支出	1,400,000
	サービス区分間繰入金支出	2,355,000
	その他の活動支出計(5)	5,087,000
	その他の活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	6,795,000
	予備費支出(7)	100,000

公益事業 資金収支予算書

(自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額
事業活動による収支	収入	
	経常経費補助金収入	1,300,000
	受託金収入	4,754,000
	事業収入	1,000,000
	その他の収入	30,000
	事業活動収入計(1)	7,084,000
	支出	
	人件費支出	2,490,000
	事業費支出	6,694,000
	事業活動支出計(2)	9,184,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△2,100,000
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	700,000
	事業区分間繰入金収入	1,400,000
	その他の活動収入計	2,100,000
	その他の活動資金収支差額(4)	2,100,000

第46回

花

いっぱい運動

22,800本



5月29日、81の町内会・自治会や関係団体のご協力により、「花いっぱい運動」が実施されました。

各地域では、草取り・花植えなどの役割を分担し、公園や街路樹に花が植えられました。



26日には、花苗と肥料の仕分けをする作業ボランティアに栗山町ボランティア連絡協議会（野原信子会長）から6団体会員12名のご協力をいただきました。

福祉用具等無料貸出事業

社協では、福祉用具を無料で貸出しております。

退院後のリハビリ期間、介護保険制度のご利用前や申請中、または、ケガ等により、一時的に必要な時にご利用ください。

●福祉用具無料貸出品目

車いす(子ども用有 右記の用具以外)

●貸出期間

おおむね1カ月程度(延長可)
※1カ月以上の期間は、要相談。

●申請方法

社協(しゃるる)にお越しください。
右記の③～⑥は事前にお電話ください。

●保管・衛生管理

下記の町内福祉事業所の協力をいただいております。

- ・社会福祉法人栗山福祉会 様
(特別養護老人ホームくりのさと、彩)
- ・社会福祉法人愛全会 様
(ガーデンハウスくりやま)
- ・社会福祉法人水の会 様
(養護老人ホーム泉徳苑)
- ・株式会社クオス 様



①【歩行車】



②【ベット用手すり】



③【ポータブルトイレ】



④【シャワーチェア】



⑤【浴槽台】



⑥【入浴用手すり】

ご厚志ありがとうございます

●金一封

村 尾 龍 江 様 (朝日3) より
夫の逝去に際して
石 崎 昭 夫 様 (大井分) より
妻の逝去に際して
高 橋 光 夫 様 (札幌市) より
母の逝去に際して
丸 山 直 子 様 (松風4) より
夫の逝去に際して

令和4年2月11日以降令和4年7月13日までにお寄せいただいた方

後 藤 忠 弘 様 (中央2) より
母の逝去に際して
小 幡 孝 秀 様 (角 田) より
母の逝去に際して
高 野 由美子 様 (大井分) より
夫の逝去に際して

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります

令和4年8月1日発行(第124号)

発行：社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36
栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

TEL (0123) 72-1322

FAX (0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

ホームページURL

<http://www.kuriyama-shakyo.or.jp/index.html>

印刷：山東印刷株式会社



社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受けて、作成しています

我が家の家庭菜園は、3年目を迎え、今年の土づくりでは、スコップや鍬がサクサクと入るようになり、空気を入れやすく感動がありました。土がやわらかいと野菜に限らず、花も植えやすくなります。花壇を見ていると私の知らない間に色とりどりの花がいつの間にか増えてきます。妻や妻の友人が来て、楽しみなことから花壇づくりをしていると、季節の移り変わりに合わせて、次から次へと咲く花を見ては、花の種類の多さに驚かされます。

編集後記